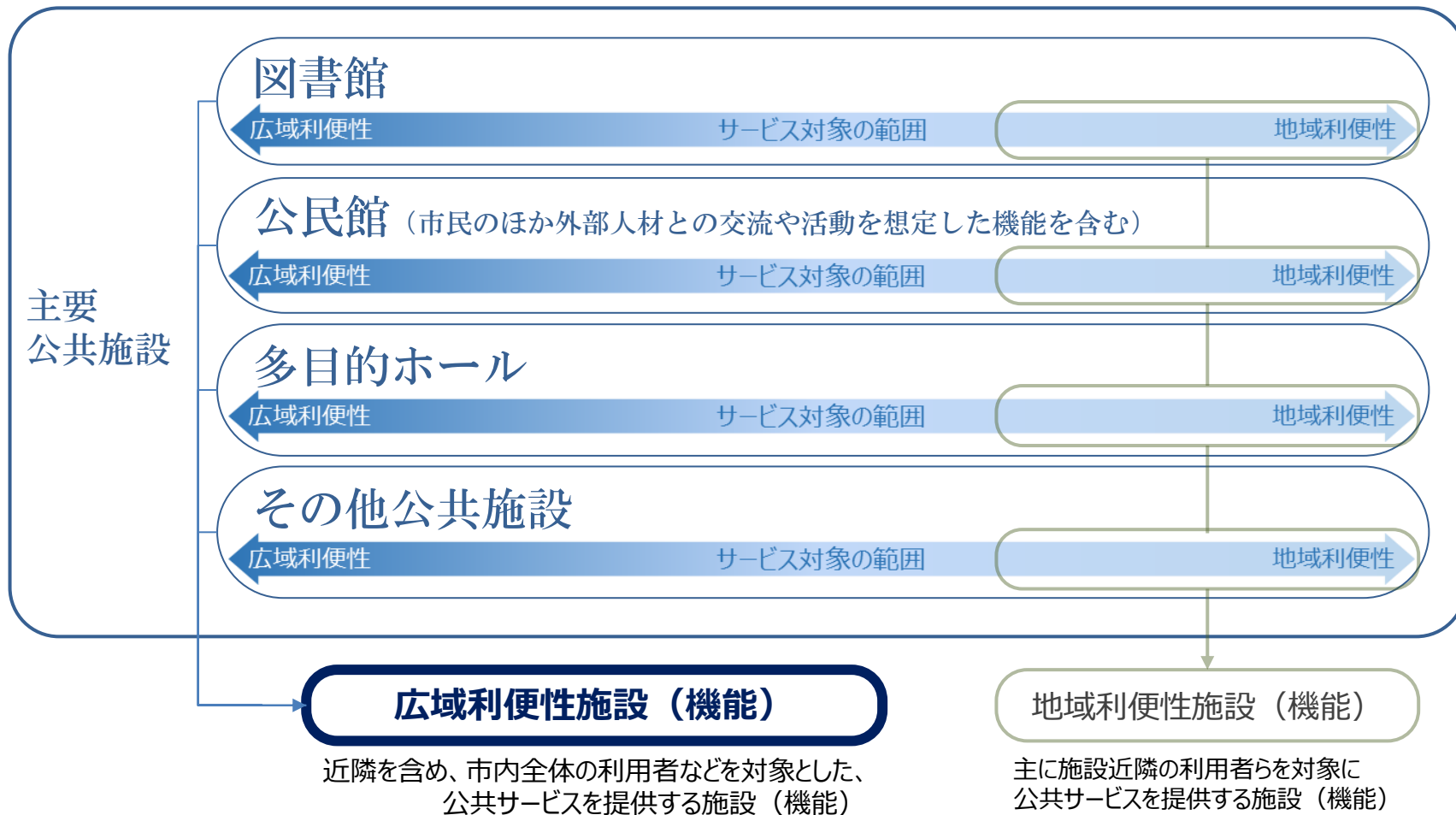


広域利便性施設（機能）の位置づけ



「主要公共施設」等を「サービス提供対象」により上記のように定義

土地利用の考え方



- ・「新たな総合寄宿舍」と「地域利便性施設」は両施設の適性からサンライズビル跡地がより適しており、親和性も高く相乗効果も見込める。
- ・「広域利便性施設」は「船井電機跡地」が適しており、また土地の有効利用を考慮すると「船井電機跡地」は「広域利便性施設」で整備するほうが望ましいと考えられる。

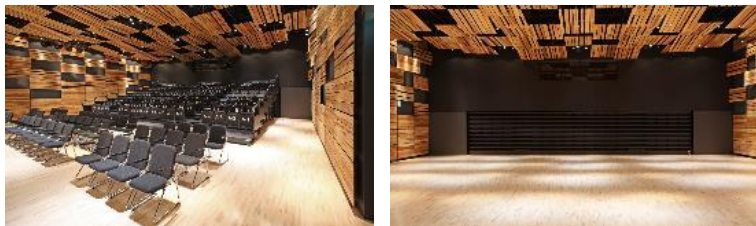
**中心市街地での「全体最適」を目指し「各用地の適性を活かす」ために
サンライズビル跡地に「合築施設」を配置する。
船井電機跡地に「広域利便性施設」を配置することを計画案としている。**

施設機能の検討イメージ

広域利便性施設では多様性に配慮するとともに、多世代が多様な用途に使えるホールや、災害時にも利用できる空間を目指すための機能を検討。

■ 可変性のある空間

空間を機能により使いわける可変的な空間を検討。
(図は可動式観客席の例)



■ 各種発表の場

広域の利用者が日々の活動成果を発表できる空間を検討。



■ 展示会場

見本市・展示会・展覧会・文化祭などが開催できる機能を検討。



■ 各種式典会場

成人式をはじめとする各種式典の開催機能を検討。



■ 各種イベント会場

子育て世代や若者向けなど、多世代向けの各種イベント会場機能を検討するとともに、既存施設開催イベントとの連携機能も考慮する。



■ 災害拠点

災害発生時において、多様な人を受け入れるよう福祉と多様性に配慮した施設環境を検討。



※その他、多様性確保のための付加機能を検討。

広域利便性施設（機能）の課題等

■ 駐車計画等

平常時や災害時の利用形態を想定した敷地内通路の配置や駐車計画を検討するとともに、広域利便性施設と池田総合体育館の一体的な利活用や利用のピーク時も含めた施設へのアクセス手段などの交通計画等の検討が必要。

■ 隣接・周辺公共施設

船井電機跡地周辺の公共施設は老朽化しているものもあり、整備が必要。

南側敷地の一体利用なども視野に入れて検討する必要。

■ ため池

広域利便性施設と池田総合体育館の一体的な利活用の際し、船井電機跡地西側の「ため池」の有効活用を検討する必要がある。

